

ルクセンブルク経済・金融情勢（2013年6月後半）

1. 経済

- カーゴルクス社、17日よりブラジルのサンパウロ便への新型機ボーイング747-8F型機の導入、また29日よりオマーンの首都マスカットに新規就航。（16日付ヴォルト紙電子版及び19日付ル・コティディアン紙）
- 2012年、固定電話サービスの契約数は前年比で28万から26万9千に減少、テレビ契約は同0.89%減少。なお、ケーブルテレビ契約は減少している一方、IP放送契約は前年比36.4%の増加である。（18日付統計局プレスリリース）
- 2012年の新規雇用創出数は、前年比2.3%の増加（2011年は同2.9%の増加）。2008年-2012年の間では、新規被雇用者数の58%がルクセンブルク居住者で、40%が越境労働者であった。新規被雇用者の主な国籍は、仏（24%）、ルクセンブルク（22%）、ポルトガル（15%）、独（9%）、二重国籍（8%）等であった。（20日付統計局プレスリリース）
- 2013年第1四半期、アパート価格は前四半期比で0.1%減少したが、前年同四半期比では4.1%増加。（20日付統計局プレスリリース）
- SES社、IPMTV社（タイ）と衛星利用契約を拡大。（20日付ヴォルト紙）
- 5月の失業率は6.9%（4月は6.7%）で、前年同月比では0.9%の増加。また、5月末時点のADEM（当国職業安定所）に登録する当国に居住する求職者数は16,470人で、前年同月比で17.2%（2,413人）増加した。（24日付統計局プレスリリース）
- ルクセンブルクの2013年における4月までの工業生産は、前年同期間比で4%の減少。他方、ユーロ圏の工業生産は2月が0.3%、3月が0.9%、4月が0.4%の増加と回復傾向にある。（26日付ル・コティディアン紙）
- 6月の消費者信頼感指数は▲11（5月は▲9）で、2ヶ月連続で後退している。（27日付中央銀行プレスリリース）

2. 金融

- 19日に開催されたALFI（ルクセンブルクファンド協会）の年次総会にて、マーク・サルーシ（Marc Saluzzi）会長が2年の任期で再選。（18日付ALFIプレスリリース）
- 独のプライベートバンクであるHSBC Trinkaus & Burkhardtは、同行及びファンド管理を担当する独HSBC Trinkaus Investment Managers SAのルクセンブルクからの撤退を決定したと24日に発表。右金融機関はルクセンブルクで計204人の雇用を有している。（25日付ル・コティディアン紙）

●ドイツ銀行グループ、当国にて175名の人員削減を実施すると27日に発表。現在ルクセンブルクには同グループの銀行が4行あり、計842名が就業している。（27日付ヴォルト紙電子版）

3. 政府

●フリーデン通信・メディア相、17日にRTLグループを訪問。（18日付政府公報）

●フリーデン通信・メディア相、19日に「ICT Spring Europe」にて講演。（19日付政府公報）

●フリーデン財務相、当地開催のユーログループ（20日）並びにEU財務相理事会（21日）に出席。（20日付政府公報）

●ヴィズラー公共事業相、24日にコンゴ共和国との航空協定に署名。（24日付政府公報）

●ザフェル・チャーラヤン（Zafer Caglayan）トルコ経済相、25日から26日に当国を訪問し、シュナイダー経産相、アセルボーン外相及びヴィズラー公共事業相と会談。右訪問は、トルコ航空のルクセンブルクーイスタンブール間の直行便就航開始（6月25日）に伴うものである。（24日付政府公報）

●フリーデン財務相、27日に田国立（Tian Guo Li）中国銀行総裁と会談。同行は中国における最も大きな商業銀行の一つで、1979年よりルクセンブルクにて活動している。（28日付政府公報）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。